

当期の投資環境

世界経済の正常化期待も、世界的な長期金利の上昇から株式市場はほぼ横ばい

中国・香港株式市場は、当期首から2021年2月上旬にかけて、中国経済が相対的に好調を維持していることに加え、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化期待、米国のバイデン新政権による大規模な景気対策への期待などを背景に大きく上昇しました。しかしその後、米国をはじめとした多くの国における長期金利上昇が警戒されたことに加え、香港政府が景気対策などへの財源確保のため、株式売買に係る印紙税の引き上げを発表したことが嫌気され、下落に転じました。3月中旬以降は、ネット企業への規制強化などがマイナス要因となったものの、政策期待などが支援材料となり一進一退の展開となりました。

中国人民幣元、香港ドルは上昇

為替相場については、当期間、米国での追加経済対策の成立や、経済指標の改善により米国金利が上昇したことで円に対して米ドル高が進み、米ドルに連動する香港ドルも対円で値上がりしました。人民幣元は、欧米を中心にワクチン接種が進み、市場のリスク選好度が強まったことを背景に、円安人民幣元高になりました。

当期の運用状況

当ファンドのポートフォリオは成長性とディフェンシブ性の両面を併せ持ち、景気変動などの外部環境の影響を受けにくい特徴があります。上記のような市場環境の中でも、保有銘柄の株価上昇を背景に、基準価額は上昇しました。

個別銘柄では、中国医療機器最大手の一つであるシンセン・マインドレー・バイオメディカル・エレクトロニクス、オンライン医療サービスのアリババ・ヘルス・インフォメーション・テクノロジーなどが、需要拡大と政策的なサポートを追い風にプラス寄与となりました。

当ファンドと中国株式指数の推移

(2020年11月24日～2021年5月24日)



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※CSI300指数、香港ハンセン株価指数は、当ファンドのベンチマークではありません。※円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。（出所）ブルームバーグ

当期の運用経過

ポートフォリオは、抗がん剤、脳卒中、高血圧などの治療薬領域に強みを持つ医薬品企業、体外診断、医用画像などの分野に応用される医療機器企業、健康意識の向上から需要が高まる生薬、漢方薬企業、コロナ禍で急拡大する中国のオンライン医療サービスプロバイダなどを組入高位としました。

今後の見通しと運用方針

政策への期待が株価の支援材料に

3月の全国人民代表大会（全人代）では、重点目標の一つとして民生福祉システムの健全化が掲げられました。その中で、「健康中国」キャンペーンを推進し、「インターネット＋医療・ヘルスケア」の発展を促すことが示されており、今後も政策への期待が株価の支援材料になると考えています。

中国政府は経済成長とともに、国民の健康に関わる医療政策の強化に重点を置き、ヘルスケア産業の育成を推進しています。中長期的にヘルスケアセクターに投資するには良いエントリータイミングととらえています。

中国ヘルスケアセクターは、長期的な成長が期待される息の長い投資テーマ

最新の統計データでは、中国の65歳以上の人口は1億9000万人を超え、過去10年間で6割増えました。世界最大の高齢者人口に加え、生活水準の向上に伴い、高脂血症・高血圧・糖尿病などの生活習慣病が急増している中国ヘルスケアセクターは、長期的な成長が期待される息の長い投資テーマと考えています。

医薬メーカーに関しては、各医薬メーカーの持つ主要なパイプライン・臨床試験の動向によって、株価が大きく左右されることがあります。企業の評価においては、高い新薬の研究開発力と商品化する能力を重視しています。現在は、抗がん剤、心血管疾患治療薬などの領域における高い開発能力を有する医薬メーカーを多く組み入れています。

中国のヘルスケア関連企業のバリュエーションは依然として魅力的ながら、一部オンラインヘルスケア銘柄、バイオテック銘柄では株価上昇を背景に割安感は薄れつつあります。そのため、企業の成長性やバリュエーションを慎重に検討しながら、柔軟にセクター内での銘柄入れ替えを実施しています。現在は、利益成長の確度が高い薬やワクチンの流通企業、健康意識の高まりから需要拡大が見込まれる漢方薬関連企業、眼科医療、生殖補助医療などの専門医療サービス企業に注目しています。

今後も市場拡大の成長機会を捉え、株価バリュエーションなどを考慮しながら投資銘柄を厳選することにより、信託財産の成長をめざしてまいります。

ポートフォリオの状況（2021年4月末時点）

《バリュー・パートナーズ・ヘルスケア・ファンド(クラスX)の資産構成》 ※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

業種別構成		市場別構成		通貨別構成	
業種名	比率	市場名	比率	通貨名	比率
ヘルスケア	88.9%	香港市場	44.5%	中国・人民元	51.5%
素材	2.1%	深センA株市場	25.7%	香港ドル	48.5%
生活必需品	0.8%	上海A株市場	21.7%		
現金等	8.2%	現金等	8.2%		

組入上位10銘柄 合計51.4%

銘柄名	市場名	業種名	銘柄概要	比率
ジャンサー・ハンルイ・メディシン	上海A株市場	ヘルスケア	医薬品メーカー大手。主に抗がん剤や麻酔薬、造影剤などの各種医薬品の開発および製造を手掛ける。特に抗がん剤の分野では中国最大規模を誇る。	8.3%
シノ・バイオフーマシューティカル	香港市場	ヘルスケア	医薬品の開発及び製造を手掛ける中国医薬品大手企業。通常の医薬品から漢方薬の分野まで幅広く展開しており、特に悪性腫瘍や肝疾患の分野で高い競争力を有する。	8.2%
CSPCファーマシューティカルグループ	香港市場	ヘルスケア	医療品メーカー。脳卒中、高血圧などの治療薬に強みを持ち、認知症やがんの治療薬もカバー。ジェネリック医薬品のみならず、新薬の開発力強化に注力しており、パイプラインも豊富。	5.1%
ティエンジン・ジョンシン・ファーマ	上海A株市場	ヘルスケア	漢方薬を中心とした老舗医薬品メーカー。漢方薬や生薬、原薬、製剤、バイオ薬品、健康補助食品などの製造・販売を手掛ける。	5.0%
シンセン・マインドレー・バイオメディカル・エレクトロニクス	深センA株市場	ヘルスケア	中国医療機器の最大手の一角。主に生活情報やサポート、体外診断、医用画像などの分野に応用される医療機器および装置の研究、開発、製造、販売および医療機関へのワンストップ統合ソリューションの提供などを手掛ける。	5.0%
ホウラン・バイオロジカル・エンジニアリング	深センA株市場	ヘルスケア	バイオ医薬品大手。血液製剤、ワクチン製品の研究、開発、生産、販売に従事。インフルエンザワクチンなどで高いシェアを有する。	4.4%
ユンナン・バイヤオ・グループ	深センA株市場	ヘルスケア	老舗漢方メーカー。主力は雲南白薬シリーズ、天然植物薬品シリーズを含む漢方薬、歯磨き粉、スキンケア製品。	4.3%
チャンチュン・ハイ・アンド・ニュー・テクノロジー・インダストリーズ・グループ	深センA株市場	ヘルスケア	バイオ医薬品とヘルスケア事業に従事する政府系製薬品メーカー。成長ホルモン剤などが成長ドライバーとして期待される。	3.9%
シノファーム・グループ	香港市場	ヘルスケア	医薬流通の国内最大手の1社。医薬品の製造・販売のほか、医療機器のマーケティング、物流、配達、その他サービスを提供する。	3.6%
アリババ・ヘルス・インフォメーション・テクノロジー	香港市場	ヘルスケア	アリババ傘下の医療関連ネットサービスを手がける総合プロバイダー。製品の識別・認証のほか、追跡システムのデータを使用したヘルスケア情報なども提供。	3.5%

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※市場名は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

※上記データは、基準日時点（現地）のデータを記載しています。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※上記は組入銘柄の一部を紹介するものであり、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

企業紹介

ジャンスー・ハンルイ・メディシン

「新薬開発」に積極的な大手製薬企業
政府が国策として取り組む「新薬承認の迅速化」の恩恵を享受

- 主に抗がん剤や麻酔薬、造影剤などの各種医薬品の開発および製造を手掛ける中国の製薬大手企業。特に抗がん剤の分野では中国最大規模を誇る。
- 近年、政府の注力分野である新薬開発へ経営の軸足を移すべく、研究開発強化に注力している。
- 政府の新薬審査の大幅な簡素化の恩恵を最も大きく受ける企業の一社で、今後、高い成長が期待される。



株価：2016年1月初～2021年4月末

EPS：2016年～2022年（2021年以降は2021年5月のブルームバーグ予想）

シノ・バイオフーマシューティカル

中国の総合医薬品企業
高い品質で医薬品を提供し市場をリード

- 複数の子会社を通じて医薬品の開発および製造を手掛ける中国医薬品大手企業。悪性腫瘍や肝疾患の分野で強みを持つ。
- 中国で有数の医薬品企業であり、腫瘍治療薬、肝疾患治療薬、鎮痛薬など数百の医薬品を展開。
- 生産規模や品質管理の面で市場をリードしている。
- 医薬品の品質管理の強化を進める改革の恩恵を受けるポジションにあり、高い品質とコスト競争力を武器にシェア拡大が見込まれる。



株価：2016年1月初～2021年4月末

EPS：2016年～2022年（2021年以降は2021年5月のブルームバーグ予想）

※上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

(出所) バリュース・パートナーズ、ブルームバーグ

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

中国のヘルスケア関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

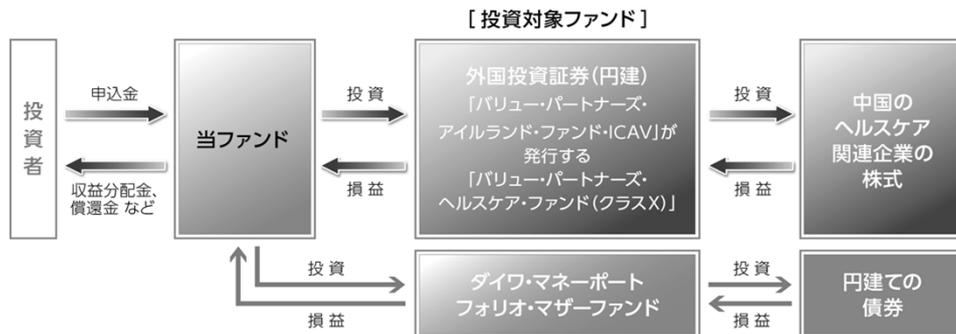
ファンドの特色

1. 中国のヘルスケア関連企業の株式に投資します。
※株式にはDR（預託証券）を含みます。

当ファンドにおける中国のヘルスケア関連企業とは

中国を含む世界の金融商品取引所に上場されており、中国で事業活動の大半を行なっているか、または収益の大部分を中国から得ている企業のうち、医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケアサービス、医療技術、医療用品等に関連する企業をいいます。

2. 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資証券を通じて、中国のヘルスケア関連企業の株式に投資します。
外国投資証券への投資に関する権限をバリュー・パートナーズ香港リミテッドに委託します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【中国A株投資に関する留意点】（2020年8月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国A株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国A株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII制度を通じた中国A株への投資においては、一定期間の中国国外への送金にかかる制限が設けられており、その後の中国国外への送金および中国国内への入金についても一定の制限があります。RQFII制度を通じた中国A株への投資においても同様の規制や制限等の影響を受ける場合があります。
- 株式相互取引制度やRQFII制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートの変動とは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。中国の証券関連投資の法令は近年制定されたものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.7985% (税抜 1.635%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.13%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.9285% (税込) 程度	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。